第 11 回未来会議（全体会）　議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議（未来会議）会長　須都　紘
書記・広報　鈴木　豊

日時：令和 4 年 1 月 23 日（日）13:30～15:10
（各分科会の打ち合わせは 16:45 まで）

会場：西集会所

出席者：（順不同、敬称略）
須都　紘（会長）、伊藤　智子、梅本　慎二郎、黒部　實（以上　副会長）
鎌田　卓（事務局長）、鈴木　豊（書記・広報）
田口　信義、中世古　昭一、山地　祐輔、山田　勲、中谷内　政之、
黒田　勝行、福家　稔、谷猪　富貴子、山田　修、渡辺　昇
傍聴：中尾議員（生駒市議会）
欠席：蔵田　かほり、野津　拓也、須田　健一

配布資料：
① 議題
② 「子育て分科会」活動報告書
③ 「高齢者分科会」活動報告書
④ 「交流分科会」活動報告書
⑤ 令和 4 年度予算（案）
⑥ 連合会ホームページへの提言

須都　未来会議会長より
・1 月中旬以降、新型コロナウィルスのオミクロン株による感染が急速に拡大しており、いきいきホールと各集会所は 1 月 21 日から 2 月末まで臨時に閉館となっている。
・未来会議についてもオンラインの開催を検討したが、会場の広さが確保されていることや、オンラインでは構成員間のコミュニケーションが難しいこと

もあり、感染対策を行いつつ、敢えて対面で会議を開催した。

・今回も各分科会の検討結果の報告が中心となる。各分科会は、3月に区切りをつけることをメドに、検討を進めてもらいたい。

・また、来年度の予算と前回の全体会で議題に上がった連合会ホームページへの提言についても、検討をお願いする。

「子育て分科会」活動報告

転入促進

・不動産事業者からヒアリングした項目でまだ検討していない中期的な課題がいくつか残っている。対応するか否かも含め、本日の分科会から検討を始めることとしている。

こどもの居場所

・前回の全体会議で出された意見に対して分科会で検討した結果について、下記のとおり報告する。

1. アテンドスタッフの目が行き届くよう、人数制限を設ける必要があるのではないか。
   → コロナのこともあって密にならない配慮が必要。人数制限する方向で検討する。
2. まずは対象を小学生だけに限定してはどうか。
   → 小学生だけを対象とする案が有力であるが、自治会に中学生対象の事業が少ないのが気になるとの意見も出ている。
3. 問題行動を起こす子どもにはどう対応するのか。
   → 子どもたちが相談しやすい高校生・大学生のボランティアに積極的に参加してもらって、共に対応にあたっていくこともよいのではないかと考えている。
4. 重大な事故・事件への対応について、管理責任を問われる可能性を視野に、弁護士に相談するなど、慎重に検討してほしい。
   → 近隣の居場所事業を見学してどのように対応しているか参考にすることを検討していたが、コロナの急拡大に伴い見学ができない状況となってしまった。運営の中心となっているメンバーに話を聞く方向で調整中。

・準備期間がもう少し必要で、自治会保険の適用が来年度４月以降となることを鑑み、開所時期を４月からとすることを検討していたが、コロナの影響でもう少し先になるかもしれない。
・光熱費は、自治連合会の事業という扱いでお願いする。
・居場所で何をするかについては、最初のころは遊びやイベントを事前に用意したい。また保護者のニーズを踏まえ、居場所で宿題をしてもよいことにする。
・休日のイベントについては、年２回の実施を検討している。内容としては、①子ども会と違うもの、②中高学年も対象としたもの、③宗教的・文化的背景に配慮など、様々な意見が出ており、今後も検討をしていく。
・「地域学校協働本部」のメンバーとなり、本部の他の参加者にも協力を要請していきたい。将来的には子ども会、老人会、ボーイスカウトなどの組織とのコラボレーションも検討していきたい。
・校区を対象とした事業であることから、鹿畑自治会の会長、高山久保 12 班の班長と話し合いをしたが、いきいきホールは鹿ノ台自治連合会の場所であるために、そこで行う行事に協力するのはなかなか難しいとのことであった。こどもの居場所事業に関しては、校区の他自治会からの運営への参画や協力金の要請などは行わない方向で検討したい。

意見交換

・「地域学校協働本部」はどのような活動をしているのか。
　→　学校で、鹿ノ台の歴史や祭に関する地域の方の講演会や、地域活動への子どもたちによる感謝のイベントを行うなど、一部は活動しはじめているが、今後についてはまだ学校と協議中の段階である。２月に会議を開催することを検討している。鹿ノ台校区は他の地域と比べて地域から多くの支援を受けており、地域学校協働本部に子育て分科会が参画することで、地域で活動しやすくなると思う。

「高齢者分科会」活動報告

・「ワンコインサービス」、「家事支援サービス」など当分科会で必要だと考えているサービスは、生駒市シルバー人材センターにおいてすでに提供済のものが多い。ただしゴミ分別や早朝のゴミ出しは対応できない。
・ゴミ出しについては自治会の関与があれば大きく前進すると思われるので、各自治会で議論してもらうよう連合会から要請する。

・生駒市発行の「くらしのあんしん」（高齢者の福祉と健康の手引き）を鹿ノ台全体に配布してもらえるよう、連合会から生駒市に要請する。
・連合会の福祉担当副会長が活動しやすくなるよう、各自治会に福祉担当の評議員を置くことを調整する必要がある。
・「生活支援の会」という新組織を立ち上げ、各種の困りごとの受付窓口とする。委員会や各自治会の福祉担当と連携して活動する。
・様々な取り組みが行われているが情報が分散しており、相談したいことや困りごとが起きたときにどこに連絡すればよいかわからない。情報を集約したわかりやすい冊子を作成して、配布したい。
・1 月 27 日にふくまち鹿ノ台と意見交換する予定である。

意見交換

・情報を集約した冊子は、いつ頃配布する予定なのか。
　→　どの項目を入れるのかを 3 月までに決めたい。配布は来年度となる。
・「生活支援の会」は、実対応ではなく、窓口機能が中心となるのか。
　→　相談などを幅広く受付け、担当する団体や対応できる個人に対応をお願いする窓口であり、コールセンター的な役割を担う。
　→　（田口連合会長）困りごとへの対応については、各自治会が近隣交流として行うのがよいが、自治会だけでは前に踏み出しにくいので、連合会が仕組みを作りたい。各自治会の福祉担当が動けば、課題への対応が進むと考えている。

「交流分科会」活動報告

「森のコンサート」

・ツツジの季節に大きなコンサートを実行する前に、試行として鹿ノ台「森のコンサート」を企画した。
・この企画を生駒市みどり公園課に相談してきたところ、「公園の有効活用につながる」と、好意的な反応を得た。
・森のコンサートの主な目的は、コロナ禍のなか感染の恐れが少ない鹿ノ台中央公園でコンサートを行い、アマチュアの質の高い演奏を市民に提供することである。
・鹿ノ台の環境の美しさを知ってもらえるツアーも併せて実施したい。

・生駒市からは、「キッチンカーで食事を提供し、音楽同好者だけではなく幅広い市民・親子が楽しめる内容にしたらどうか」と提案があった。イベントとキッチンカーのコラボレーションが 3 月末に生駒山麓公園で行われる予定なので、見学に行って森のコンサートを開催する際の参考にしたい。
・森のコンサートの開催日時は 4 月 2 日（土）午後からを予定している。コロナの影響で中止せざるを得ない状況になるかもしれない。

その他

・生駒市では「生駒健康ウォーキングマップ」を作成している。これに倣って、「鹿ノ台の緑を楽しむ」ウォーキングマップを作成した。サンプルとして作成済だが、もう少し工夫したい。

意見交換

・森のコンサートやツツジの季節の音楽祭は、どのような組織で実行するのか。今わかっている範囲で示してもらいたい。
　→　次回に提案する。
・キッチンカーと似た事例として、「子ども食堂」は多くの実績がある。高齢者と子どもがコミュニケーションするのに最適のイベントであり、開催することを検討してもよいと思う。

令和 4 年度予算（案）

・来年度の予算（案）は本年度と同じ 10 万円の予算で提案する。
・本会議で検討の上、自治連合会に申請することにする。

意見交換

・自治会員から出費されたお金である。皆が楽しめるよう、イベント等の会場に移動できない人にオンライン視聴の機会を提供することなどにも取り組んで行く必要があると思う。
→最初からは困難かもしれないが、念頭において検討していく。
・予算案に関連することなので、情報共有する。「官民連携まちなか再生推進事業」の提案については国に提出し仮申請までは通過したが、官民参画の協議会の設立にいたらなかったため、残念ながら本申請は見送ることになった。本申請が通れば、全国初の自治会主導の事業となるところであり、残念である。ただ、鹿ノ台における取組みの先進性、素晴らしさを十分にアピールする効果は

あったと思う。

→ 地域の取組みにおいて鹿ノ台はすでに実績があるため、どうしても他の地域が優先されてしまうのではないか。どのようなアプローチが有効か、さらに考えていかなければならない。

連合会ホームページへの提言

・構成員の皆さんからいただいた意見を集約した。皆さんからは「ホームページの入り口となるページの充実、わかりやすさが大切だ」という意見が多かった。

・ホームページ委員会に方向性を抽象的に提案するだけでは前に進まないと思う。将来を見据えた具体的な提言をしていきたいので、若い構成員にも入ってもらって3月中までをメドに検討していきたい。

→ 参加メンバーは黒部、黒田、山田（勲）、山田（修）、伊藤、梅本、山地、鈴木とする。

・参考として、「結ネット」の加入者は年末の時点で 70 世帯だったのが現在では 180 世帯まで急増している。ホームページのように情報を見に行かなくても結ネットから通知されてくるので、使い勝手も良いと好評である。

→ ホームページも結ネットも、それぞれに良いところがある。どのように使い分けていくかも検討が必要。

その他

・コロナウィルス感染症の急拡大により、2月に予定していた未来会議・連合役員会連絡会は中止する。連合会への情報共有は、書面及び数人の参加で行う。

各分科会の打ち合わせ

・各分科会に分かれて、打ち合わせを実施

次回

日時

令和 4 年 2 月 20 日（日）13:30 – 16:00

「東西」の構成員及び幹事は 13:15 集合

会場

ふれあいホール 1 階小集会室

＊会場変更につき、ご注意ください。

主な議題（予定）

1. 各分科会からの報告
2. 共通報告事項
3. 各分科会の打ち合わせ
4. その他

以上